

株式会社アビリティ（福島県福島市）は、「初等部マリン」「中学部フォレスト」など、多彩なブランドを展開している。そして昨年は宮城県仙台市に新たに小1～小6までを対象とした「学びstudioアビリティ」というブランドを立ち上げた。探究学習やオンライン英会話などを提供する学びstudioアビリティの様子について、代表取締役の佐藤朋幸氏に話を聞いた。

透明度と信頼度の高いOLECOが子供の英語力をメキメキ伸ばす

「興味・能力を開発する」がコンセプト

——御社では学びstudioアビリティという新業態を開発されたそうですね。どのような特徴があるのでしょうか。

昨年春にオープンした学びstudioアビリティは社内プロジェクトから誕生した塾で、興味や能力を開発することを目的としています。

特に探究学習はこれから不可欠な分野だと思いますが、地方にはまだまだ普及していません。そこで私たちは東京のa.schoolと提携し、「なりきりラボ」おしごと算数」を提供しています。

——探究学習は先生のファシリテーションが大変だと思いますがいかがでしょうか。

いろいろな探究学習塾を見学させていただき、私たちでも十分に授業が展開できるもの、より再現性が高いものをと吟味して導入いたしましたので、問題なく進められています。



a.schoolと提携した探究学習の授業

類の仕事体験ができるプログラムで、子供たちはほんのりのめり込んでいきます。教員がリードする必要がなくなってしまうのを、私たちはコントロールするだけで済むんです。

透明度の高いOLECOに共感

——探究学習以外にも、いろいろな学びを提供されているそうですね。

はい。プログラミングコンテンツ「LOGY（ロジー）」を提供しています。プログラミングという、ネットにつながっていないと、高度な処理ができなかったりすることが多いと思いますが、LOGYはネットに接続可能



OLECOやTERRACEといったICT教材を積極的に活用している

「リアルタイムの天気わかる装置」「人の顔を見分けるロボット」など、アイデア次第で作りたいものを作ることができます。LOGYは私の甥っ子が学生ベンチャーで立ち上げたのですが、そのコンセプトに共感して導入しました。

また今後、力を入れていきたいのが、オンライン英会話の「OLECO（オレコ）」です。大学入試改革に対応したいと、以前は違うオンライン英会話システムを使っていたのですが、当社の別ブランドで4年前からOLECOを

採用しています。

——なぜOLECOに変更されたのでしょうか。

最初はOLECOのサイトのデザイン性や安心感などにひかれてコンタクトを取ったのですが、そのイメージ通り、運営形態は信頼できるものだったのです。

OLECOは、フィリピンの現地講師とオンラインで英会話レッスンをします。フィリピンとつなぐ英会話システムはほかにもありますが、講師の方は自宅にいてケースが多いんです。それに対してOLECOはオフィスへの出勤を原則としていますので、講師の方に程よい緊張感があるんですね。

——確かに安心の体制ですね。

現地オフィスは見学することが可能で、私も拝見しました。OLECOのオープンな姿勢には、大変共感しています。



佐藤朋幸代表

また災害対応や、通信障害などトラブルが予測される際には事前に連絡がきますし、その際の対処法も教えてもらい、実際にスムーズな対応をしていただけます。

さらに日々の要望などは、担当者に連絡することで運営本部がそれらを吸い上げ、可能な限り改善されていきます。

保護者からは「ほかの英会話とどう違うんですか？」と聞かれることもあります。フィリピンオフィスを見学させてもらったことなど、その透明性や信頼性は、オンラインワンのシステムだと伝えています。

シャイな東北の子もしっかり発言

——実際に使用してみているかがどうでしょうか。

東北にはシャイな子が多く、英語を話すことに抵抗があるはずなのですが、OLECOは小1生でも安心して発言できるのがいいですね。スピーキングに対するハードルを見事に取り払ってくれ、子供たちが楽しそうに話しているのは微笑ましいです。

また学習塾と英会話教室の違いを示すために、私たちは生徒の成長度合いをエビデンスとして提示したいと考えています。特に英検は大切な指標と位置づけ、準会場に登録。おかげで英検を受験する生徒は増えました。

——成果のほどはいかがでしょうか。

上位クラスの場合は中3で2級を目標にしているの



佐藤代表の甥が開発に携わったプログラミングコンテンツ「LOGY」

ですが、クリアする生徒がちらほら出てきました。なかには準1級にチャレンジする生徒もいます。

OLECOで30分間レッスンしたあとは、ライティング、スピーキング、シャドーイングと、本塾の講師による30分の振り返りをおこないます。そこを手厚くすることで、英検の目標を突破する生徒をたくさん育てたいと考えています。

——月額いくらでOLECOを受講できるのですか。

値段を自由に設定できるのもOLECOの魅力で、本塾では内部生8000円、外部生1万円で提供しています。ユーザー、塾、フィリピン講師、OLECO側と、すべてに無理のない価格設定になっていて、こうした点にもOLECOの誠実な姿勢を感じます。

「聞く」「話す」をこの価格でコツコツ鍛えられるのは効果的で、「読む」「書く」の力にもつながっていると感じます。

今はまだオプション的な位置づけですが、いずれOLECOは大きな柱になると感じています。このシステムを使い、いかに付加価値を提示するかは塾の腕の見せどころ。レッスン後の指導を充実させながら、「英語にも強いアビリティ」をしつかり打ち出していかれたらと考えています。